



# 南中学校だより

【学校教育目標】心を磨き 本気で学び たくましく

令和7年12月24日(水)  
東松山市立南中学校長  
栗田 秀人

第 10 号

【目指す学校像】生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校

## 2学期終業式 式辞 冬休み 心が動く体験を

南中生の皆さん、おはようございます。今日は令和7年度第2学期の終業式です。夏から秋、そして冬と、3つの季節をまたぐ長い2学期、どんな思いで今日の日を迎えているでしょうか。4か月に及ぶ長い期間です。良いことも、そうでないことも含めて様々な出来事がありましたが、南中学校全体を見ると概ね落ち着いた日々を送りました。そんな日々の中で、今日は私自身の心が動いた、そんな場面の話をします。君たちのことではなく、私の思いについて話すことを許してください。

まずは9月、猛暑の中、練習に取り組んだ新人戦。今年の新人戦は個人種目で県大会上位に複数の入賞者がいました。思った結果にならなかった人もいると思います。勝ち負けこそついてしまいましたが、自分の選んだ競技に対して、最後の最後まで必死で取り組む様子に心が動かされました。

駅伝大会では女子Aチームが予選を突破し県大会9位に入賞しました。久しぶりに県大会上位入賞という素晴らしい成果が上がりました。実は同じくらいうれしかったのが比企地区予選会に男女各3チームが出場してくれたこと。練習から大会本番まで、苦しそうな表情の中にも、必死で前の走者を追う選手の姿が印象的でした。また、これだけ多くの生徒が「南中」の看板を背負って出場してくれたことに心を動かされました。

東松山市民文化センターで開催した合唱祭。練習の成果が発揮され、レベルの高い素晴らしい合唱祭になりました。肝心なのは、すべてのクラスの取り組みを客席から見ることができたことです。どのクラスも、それぞれの思いをもって一生懸命歌っている様子に心が動いたように感じました。

日常の生活に目を向けてみます。「挨拶」がしっかりとできるようになってきました。朝、校門で登校指導をしていると、私に視線を合わせて、声を出して、軽く会釈まで入れて通り過ぎていく生徒が大変増えたように感じました。「今日も頑張ろう」という気持ちにさせてもらいました。毎朝、心が動いていました。

12月の三者面談。この期間中、3年生は受験用の面接練習に取り組んでいます。私も何人かの面接練習を担当しました。緊張しながらも必死に回答する姿が大変印象的でした。南中生の素直さと真正面さに心が動かされました。

他にも様々な出来事があり、心を動かされる場面が沢山あったのですが、すべてに共通するのは私自身がその場面を直接見て感じることができたということです。嬉しそうな様子、必死な様子、悔しがっている様子など、その場所に行き、その姿や表情を直接見て、音を聞いて、その場の雰囲気を味わったからこそ強く心が動かされたのだと感じています。誰かから聞いた話だったり文字で読んだりしただけでは、感動こそそれ心の揺れ幅は僅かなのだと思います。

余談です。南中のことではないけれど、2学期中に見て、体験して大きく心が動かされたことを2つ。一つは先月号にも書きましたが、松山女子高校音楽部の合唱をホールの客席で聞いたこと。もう一つは某有名男性歌手Fのコンサートをベルーナドーム（西武ドーム）で見たこと。やはり映像や音源だけで感じることと、直接見て感じることは大きく違いました。

12日間の冬休みに入ります。機会があれば、直接行って、見て、体感する機会を持ってください。本物を見ること、実物に触れること。きっと心が動く体験ができるでしょう。3年生は受験に目途がついたなら是非取り組んでみましょう。

全校生徒に2学期終業式の式辞として伝えたことの「読み原稿」です。この冬休みは曜日の並びで長く休みが取れるとのこと。是非、お子様と一緒に行動する機会を持っていただき、直接見て、感じて、心が動く体験を共有してみてください。遠くに行かなくても、特別な体験でなくても、ご家族で体験を共有し、顔を見て思いを伝え合ってみてください。宜しくお願ひいたします。

### 夢 with Science

(12月22日(月)：東松山市民文化センター)

市内中学2年生対象の講演会「夢 with Science」に参加しました。本校卒業生でもあるノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生から演題「基礎科学の楽しさ～私の経験から～」と題してご講演をいただきました。梶田先生ご本人から直接お話をいただき、科学の楽しさや夢をもつことの大切さなどのメッセージを受け取ったようです。講演の司会及び感想発表として5組の○○さんが、先生への質問コーナーで2組の○○さんがそれぞれ学校代表として立派に役割を果たすことができました。

講演前には、今年の東松山市理科教育研究発表会で「梶田隆章博士ノーベル賞受賞記念賞」を受賞した本校1年の○○さんが、梶田先生から直接表彰していただく機会に恵まれました。市長、副市長、教育長も同席してくださいました。○○さんの経験が次の活動の糧になってくれることを期待しています。（写真上：会場到着！　写真下：梶田先生にカップを授与していただく○○さん）



## 1年生校外学習

(11月28日(金)：伊香保グリーン牧場・伊香保温泉石段付近)

今年度から宿泊無しの行事となりました。修学旅行を見据えて、よりよい集団生活をすることや学校外の生活で公衆道德を学ぶことを目的としました。伊香保グリーン牧場では飯盒炊爨（カレー作り）を行い、その後、伊香保温泉の名所である石段付近を中心に温泉街をめぐる「フォトロゲイニング」に取り組みました。フォトロゲイニングとは、「地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めスポーツです。参加者はチームで行動し、チェックポイントでは見本と同じ写真を撮ります。地図に示されたチェックポイントの数字がそのまま得点になり、より合計点の高いチームが上位になります。」（日本フォトロゲイニング協会HPより）という“スポーツ”だそうです。「チェックポイントの選び方、ルートの取り方は各チームの任意です。どこを回る？どの順番で回る？それが、チームの作戦です。」（同）班ごとに温泉街を巡ることになるので、話し合いや協力など校外学習の目的を十分達成できる活動だったとのことです。インフルエンザ等の風邪症状などで欠席がやや多かったのは大変残念でしたが、無事行ってくることができました。

費用の高騰、天候に左右されることのリスクなど様々な要因があり、昨年までのスキー実習から今年は宿泊無しの「校外学習」に変更しました。保護者の皆様から様々なご意見を頂戴いたしましたが、よりよい集団作りや公衆道德を学ぶことなど、概ね目的は達成できたと考えます。今回の措置をご理解いただけたと幸いです。



## 三者面談・三年生面接練習

(12月10日(水)～17日(水)：各教室他)

全校三者面談を実施しました。1・2年生は全員、3年生は希望者のみの実施でした。短い時間でしたが、生徒本人、保護者、担任の間で有意義な話ができたようです。2学期は、この話し合いを通知表の所見に代えさせていただきます。ご理解いただきますようお願いします。

さて、3年生はこの期間を利用して面接練習に取り組みました。これは主に年明け早々の私立高校受験の際の面接を想定した練習です。面接官は、管理職、教務主任、学年主任など担任するクラスを持たない職員が務めました。どの生徒も大変緊張した面持ちで、面談中はずっとそれが解けることはなかったようです。ただ、全員が質問を正面から受け止め、精一杯回答しようとする姿勢が伝わってきました。素直で真面目に取り組む様子が伝わってきました。高校受験の際の面接とは、質問に対しての正しい回答を求めるわけではありません。受験者本人の人柄や高校生活への意欲などを見るものです。そのような基準でみると、どの生徒も十分合格点をつけられるような取組でした。

ところで、令和9年度入試（今の2年生）からは、すべての県立高校に面接が導入されます。中学校3年間で自分が取り組んできた内容を、自分自身で調書にまとめて記載し、その調書を基に面接が実施されます。面接に向けて、自分が取り組んできたことをアピールする訓練をすることが望まれます。ご家庭でも今から想定しておくのもよいでしょう。



## 体育館空調・トイレ改修工事

9月の新人戦比企地区予選会以後に進められてきた体育館の空調設備の設置及びトイレ改修工事が最後の仕上げにかかっています。年明けには生徒の使用は可能の予定です（一般貸出は未定）。

3学期、生徒の声が戻ってきます。全校生徒が一堂に会して顔を合わせられることが楽しみです。

（館内の最上部に写真のような室内機が計12台設置されます）。



## SNSの使用について

SNSが生徒同士のトラブルの原因になることがあります。以下の文は、終業式後、生徒指導担当が生徒に向けて話した内容です。ご家庭での指導の参考にしていただくとともに、引き続きの見守りをお願いいたします。

SNSは便利な道具ですが、使い方を誤ると大きなトラブルになります。一度送った言葉や写真は簡単には消えません。軽い気持ちでの投稿が、相手を傷つけてしまうこともあります。また、安易に情報を広げることも危険です。ましてや、誰かが言っていた悪口を「○○ちゃんが△△って言っていたよ」と広めるのは論外であり、決して親切な行為ではありません。みんなが嫌な思いをする行為です。画面の向こうには必ず人がいることを忘れず、相手の気持ちを考えた使い方をしてください。困ったときは一人で抱え込まず、大人に相談することも大切です。

## 保護者・地域の皆様へ

令和7年も本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆様のお力添えで今年を終えることができそうです。令和8年もこれまでと変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長 栗田 秀人